

EQUOシリーズ 微差圧ステーション 形 ZN-DPX21-S



このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本ガイドは、本製品の立ち上げに関する簡単な手順と操作方法について説明しています。
詳しい説明は、同梱の取扱説明書および HP 上のユーザーズマニュアルをご覧ください。

スタートアップガイド

2155209-1F

△ 取扱説明書の「安全上の要点」と「使用上の注意」をご覧ください。

オムロン株式会社

© OMRON Corporation 2010 All Rights Reserved.

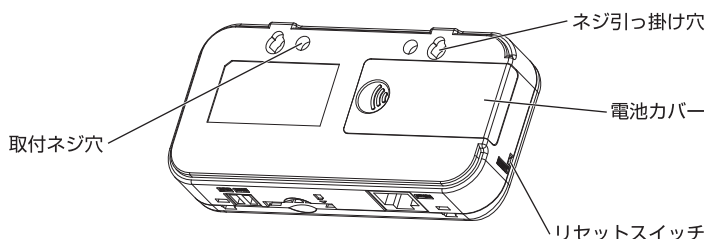
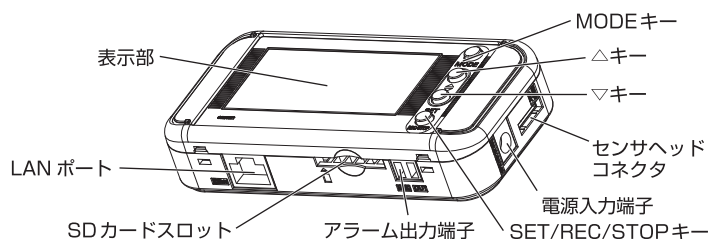
STEP 1 内容物を確認する

- 本体 1台
- ACアダプタまたはDCケーブル(フェライトコアとセット) 1台
- アラーム出力コネクタ 1個
- 取扱説明書 1部
- スタートアップガイド(本書) 1部

STEP 2 必要な物を準備する

- 差圧センサヘッド
形ZN-DPS1□□-S(別売り)
- ネットワーク接続する場合
LANケーブル、LAN用HUB
10BASE-T、100BASE-TX用
- 計測データを本体に収録する場合
SDメモリーカード(SDHC対応)
推奨SDカード:形HMC-SD292(2GB) /
形HMC-SD492(4GB)
- 電池で駆動する場合
単4電池 2本
アルカリ乾電池、または
充電式ニッケル水素(Ni-MH)電池
・同じタイプの電池を2本使用してください。
・ネットワーク接続する場合は、
ACアダプタを使用してください。
電池は停電時のバックアップとして
使用できます。

各部の説明



■操作部

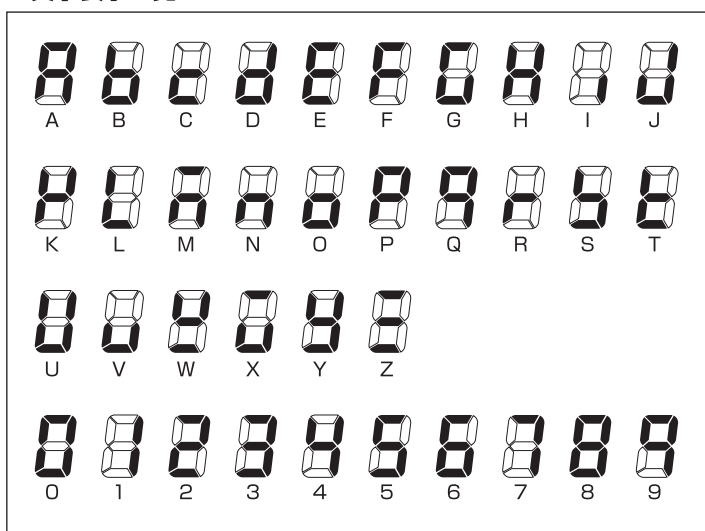
名前	主な機能
MODEキー	動作モードの切り替え アラーム・エラーの解除(長押し) 設定確定前のキャンセル
項目選択キー(△キー)	設定項目の移動(上方向) 表示画面の切り替え 設定値の変更(増加)
項目選択キー(▽キー)	設定項目の移動(下方向) 表示画面の切り替え 設定値の変更(減少)
SET/REC/STOPキー	設定値などを確定 収録の開始/停止(長押し) 収録データのSDメモリーカードへの保存

■表示部



表示	点灯時の意味・動作
LAN	LANケーブルで通信しています。
LAN	LANケーブルが接続され、ネットワーク通信可能です。
REC	内部メモリへのデータ収録中です。
SD	SDメモリーカードが挿入されています。 点滅時はSDメモリーカードにアクセスしています。
ALM	計測値が設定したしきい値を超えたことを表します。
電池アイコン	ACアダプタまたはDCケーブルから電源が供給されています。 4段階で電池残量を表します。点滅時に電池交換を行ってください。
Hi	しきい値の上限值を表示しています。
Lo	しきい値の下限值を表示しています。
MAX	計測値に対する演算処理が[MAX]に設定されています。
MIN	計測値に対する演算処理が[MIN]に設定されています。
AVE	計測値に対する演算処理が[AVE]に設定されています。
RUN	現在の動作モードがRUNモードになっています。
FUN	現在の動作モードがFUNモードになっています。
THR	現在の動作モードがTHRモードになっています。
SCL	RUNと同時に点灯している場合は、計測値の調整を行っています。 SCLのみの点灯時は現在の動作モードがSCLモードになっています。

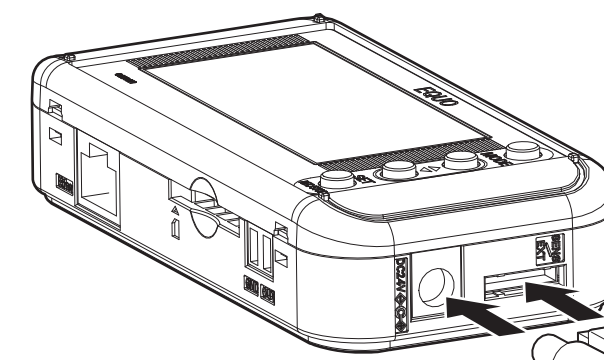
■文字表示一覧



■主なメッセージ表示

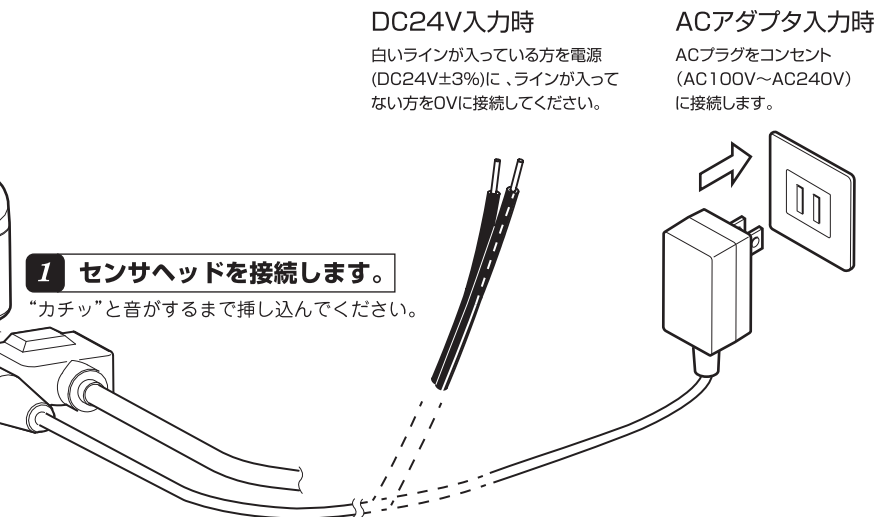
表示	文字列	表示	文字列	表示	文字列
CYCLE	CYCLE	SDISP	SDISP	DP HI	DP HI
MEAS	MEAS	OFF	OFF	DP LO	DP LO
PD-S	PD-S	ON	ON	HOLD	HOLD
MODE	MODE	DISP	DISP	RESET	RESET
REC	REC	NORM	NORM	DONE	DONE
INIT	INIT	MAX	MAX	DATA	DATA
ETC	ETC	MIN	MIN	SEN	SEN
RESTR	RESTR	AVE	AVE	NO SD	NO SD
BCKUP	BCKUP	NET	NET	SDLCK	SDLCK
TIME	TIME	SLEEP	SLEEP	HARD	HARD
YEAR	YEAR	IP	IP		
MONTH	MONTH	SUB	SUB		
DAY	DAY	CONT	CONT		
CLOCK	CLOCK	RING	RING		

STEP 3 センサヘッド接続と電源投入

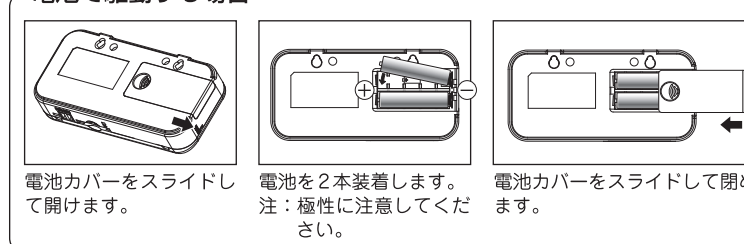


2 ACアダプタまたはDCケーブルのプラグを電源入力端子に接続します。

注:必ず付属のACアダプタまたはDCケーブルを使用してください。



電池で駆動する場合



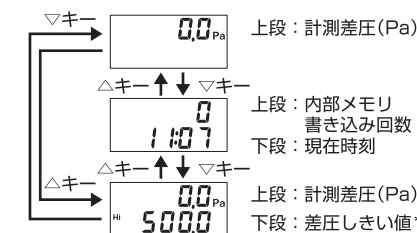
- ・ネットワーク接続する場合はACアダプタまたはDCケーブルで運用してください。
- ・ネットワークに接続せず本体のみで運用する場合は、電池寿命のためスリープモードでの運用を推奨します。

- ・LANケーブルはネットワーク接続設定後に接続してください。
- ・アラーム出力ケーブルの接続方法および設置方法はユーザーズマニュアルを参照してください。

3 ACアダプタまたはDCケーブル介し本体に電源を投入してください。

4 電源が投入されると、フリーラン(収録可能)状態となり、差圧が表示されます。

5 △▽キーで表示内容を切り変えることができます。



* 上限しきい値、下限しきい値が交互に表示されます。

STEP 4 PCソフト Multi Data Viewer Light のインストール

あらかじめ、パソコンに PC ソフト Multi Data Viewer Light をインストールします。
Multi Data Viewer Light は、集計・表示ツール、設定・ロギングツール、瞬時値表示ツールからなります。

■動作環境

- OS: Windows 7 SP1/Windows 10
- ※ NET Framework 3.5 SP1 以降が必要です。
- CPU: Intel(x86) 互換プロセッサ 1.5GHz 以上
- メモリ: 2GB(32bit 版 OS)/3GB(64bit 版 OS) 3GB 以上推奨
- HDD: インストールに 1GB の空き容量が必要
- ディスプレイ: 解像度 1024x768 以上 65536 色(16 ビットカラー)以上
- LANポート: 10BASE-T/100BASE-TX 対応(ネットワーク接続用)
- SDカードリーダー/SDカードスロット: 本体収録データ読み込み用

■インストール

以下のリンク先より、インストールデータをパソコンにダウンロードします。



<http://www.fa.omron.co.jp/multi-d-v>

インストールファイルを任意のフォルダに展開し、展開したフォルダ内の Setup.exe を実行すると右側のインストール画面が表示されます。
インストールは、Administrator/管理者の権限を持つユーザでログインして行ってください。
インストールするパソコンに .NET Framework 3.5 SP1 が有効化されている必要があります。

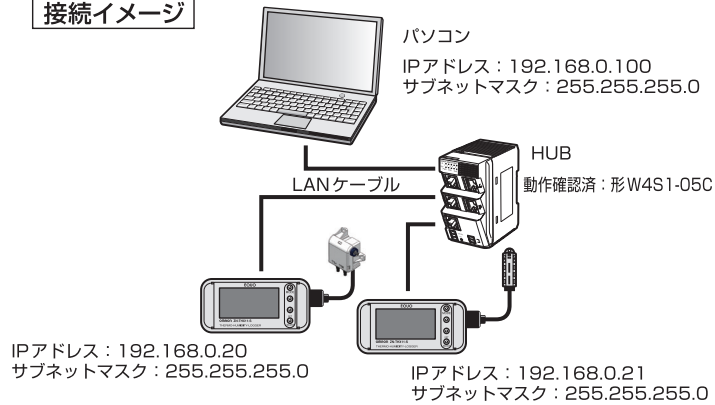
Multi Data Viewer Light のインストール方法と使い方については、インストールファイル内にある Multi Data Viewer Light ソフトウェアマニュアルを参照してください。



STEP 5 ネットワーク接続

微差圧ステーションとパソコンをネットワーク接続する場合、ネットワーク接続設定が必要です。LAN ケーブルは、本体のネットワーク接続設定の後で接続します。

接続イメージ



設定例

パソコンのIPアドレス	192.168.0.100
微差圧ステーションのIPアドレス	(1台目)192.168.0.20(工場出荷値) (2台目)192.168.0.21(工場出荷値からの変更)
サブネットマスク	255.255.255.0(工場出荷値)

注意

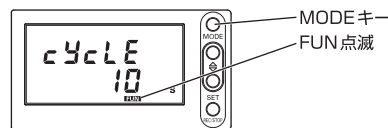
- ・ネットワーク接続される場合は、LANについて十分ご理解のうえご使用ください。
- ・微差圧ステーションをLAN接続される場合は、専用のLANを構築してください。
- ・社内LANや既設のLANに接続される場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。また、その場合でも、微差圧ステーションや付属PCソフトウェアの動作保証はいたしかねます。
- ・パソコンと微差圧ステーションはIPアドレスが重ならないように設定してください。サブネットマスクを255.255.255.0以外で運用する場合も、IPアドレスの第4セグメント(IP4)はすべての機器で異なるように設定してください。
- ・IPアドレスとサブネットマスクを工場出荷値のまま使用する場合でも計測動作モード「MODE」は「NET」にしてください。
- ・エアパーティクルセンサ形ZN-PD□□-Sと接続する場合は、ユーザーズマニュアルを参照してください。

本体設定

本体の設定はFUNモードにて設定を行います。

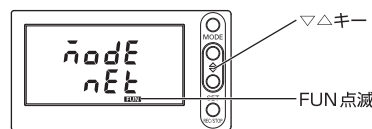
1 MODEキーを押して「FUN」を点滅させます。

すでにFUNが点滅していればこの操作は不要です。

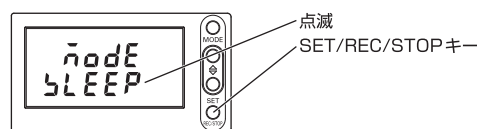


2 表示部上段に「MODE」と表示させ、下段を「NET」に設定します。

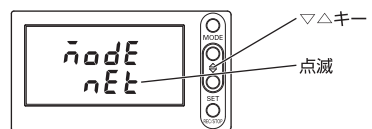
①上段に「MODE」が表示されるまで、▽△キーを押します。下段の表示が「NET」ならば②～④の操作は不要です。



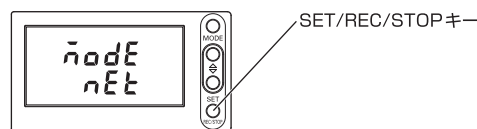
②SET/REC/STOPキーを押すと、下段の「SLEEP」もしくは「PD-S」が点滅します。



③下段に「NET」が表示されるまで、▽△キーを押します。



④SET/REC/STOPキーを押すと、「NET」に確定されます。



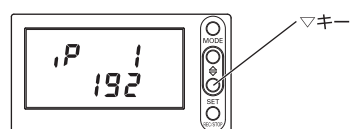
③と同様に、上段に「ETC」と表示させ、下段を「DISP」に設定します。

④と同様に、上段に「IP」と表示させ、下段を「DISP」に設定します。

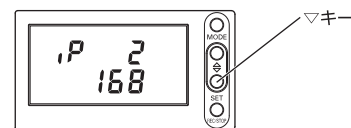
⑤ IPアドレスを設定します。

工場出荷値は「192.168.0.20」になっています。ここでは、「192.168.0.21」に変更します。

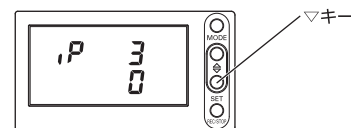
①「IP」を「DISP」に確定後、▽キーを押して「IP1」を表示させます。192 と表示されていない場合は、後述のIP 4 の変更例を参考に数値を変更してください。



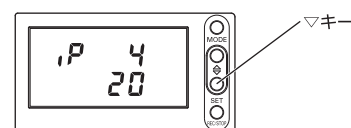
②▽キーを押して「IP2」を表示させます。168 と表示されていない場合は、後述のIP 4 の変更例を参考に数値を変更してください。



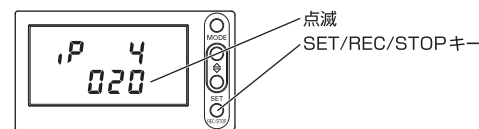
③▽キーを押して「IP3」を表示させます。0 と表示されていない場合は、後述のIP 4 の変更例を参考に数値を変更してください。



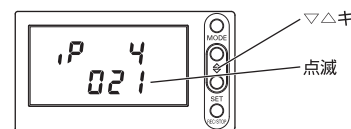
④▽キーを押して「IP4」を表示させます。「20」を「21」に変更します。



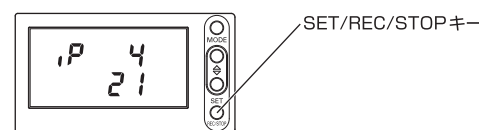
⑤SET/REC/STOPキーを押すと下段の「20」が点滅します。



⑥▽△キー押し数値を「21」にします。



⑦SET/REC/STOPキーを押すと、設定が確定されます。



⑥と同様に、SUB 1～4(サブネットマスク)を設定します。

サブネットマスクは「255.255.255.0」(工場出荷値)でお使いください。変更される場合はネットワーク管理者にご確認ください。

⑦ MODEキーを押すと再起動します。

再起動後は新しいIPアドレスで動作します。

微差圧ステーション設定項目一覧

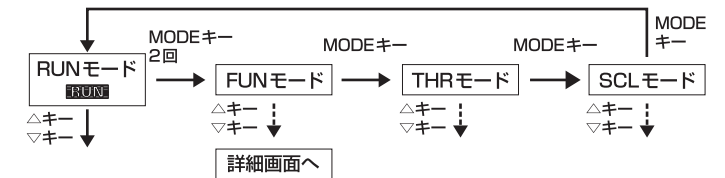
詳細はユーザーズマニュアルをご覧ください。

動作モード

微差圧ステーションには、4つの動作モードがあります。計測・収録はRUNモードで行います。

モード	名前	表示	説明
RUN	計測実行モード	「RUN」点灯	計測を行います。
FUN	機能設定モード	「FUN」点滅	各種パラメータを設定します。
THR	しきい値設定モード	「THR」点滅	アラーム出力に関する条件設定を行います。
SCL	計測値調整設定モード	「SCL」点滅	計測値の調整に関する設定を行います。

動作モードの変更はMODEキーで行います。RUNモードからFUNモードに変更するときは、MODEキーを2回、その他のときは1回押します。△キー/▽キーで詳細画面が表示されます。本体へ収録中は、RUNモードから他のモードへ移行することはできません。

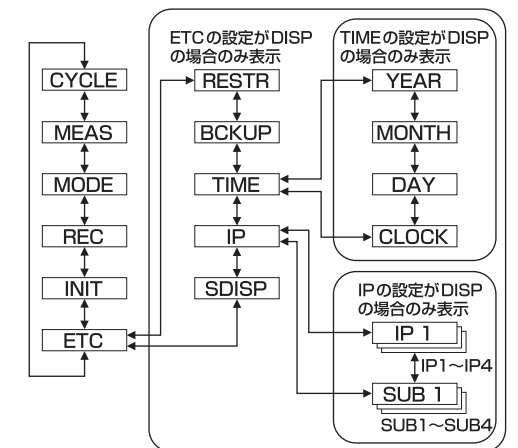


FUNモード

FUNモードでは、計測や収録機能に関する設定を行います。

表示項目	設定項目	内容	工場出荷値
CYCLE	計測値更新間隔	計測値更新間隔を設定します。 1s/2s/5s/10s/20s/30s/1m/2m/5m/10m/20m/30m/1h	10s
MEAS	演算処理モード	計測値に対する演算を設定します。 NORM/MAX/MIN/AVE	NORM
MODE	計測動作モード	計測時の動作を設定します。 NET/SLEEP/PD-S 設定値確定後、MODEキーで動作モードを変更すると、リセットされ再起動します。	NET
REC	記録モード	内部メモリがいっぱいになったときの動作を設定します。 CONT/RING	CONT
INIT	工場出荷値に戻す	SET/REC/STOPキーを長押しすると初期化を開始します。DONE表示後、MODEキーで動作モードを変更すると、リセットされ再起動します。	-
ETC (DISP時)	RESTR	SDメモリアカードの設定データを読み出し	-
	BCKUP	SDメモリアカードへ設定データを書き出し	-
TIME (DISP時)	YEAR	年	年を設定します。
	MONTH	月	月を設定します。
	DAY	日	日を設定します。
	CLOCK	時：分	時、分を設定します。
IP (DISP時)	IP1～IP4	IPアドレス	0～255
	SUB1～SUB4	サブネットマスク	0～255
SDISP	スリープ時表示	スリープ時表示を行うかどうかを設定します。 OFF/ON	OFF

設定項目の移動は△キー/▽キーで行い、SET/REC/STOPキーで確定します。



「ETC」「TIME」「IP」は「DISP」と設定しても再起動すると「OFF」に戻ります。

THRモード

THRモードでは、アラーム出力のためのしきい値を設定します。RUNモードで計測時、計測値がしきい値を超えると「ALM」が点灯し、アラーム出力がONになります。

表示項目	設定項目	内容	工場出荷値
DP HI	差圧しきい値上限	設定した値より計測温度が高い場合に「ALM」が点灯し、アラーム出力がONになります。	500Pa
DP LO	差圧しきい値下限	設定した値より計測温度が低い場合に「ALM」が点灯し、アラーム出力がONになります。	-500Pa
HOLD	アラームホールド設定	ONにすると、アラーム状態が解消しても発生したアラームを保持します。保持されたアラームを解除するにはMODEキーを長押しします。	OFF

項目の移動は△▽キーで行いSET/REC/STOPキーで確定します。

SCLモード

SCLモードでは、計測値の調整に関する設定を行います。計測値に対して一定値の加減算することができます(オフセット)。

表示項目(上段/下段)	設定項目	内容	工場出荷値
差圧計測値調整後の値	差圧調整	差圧を調整します。上段は調整なしの値、下段には調整後の値です。	調整なし (上段表示値=下段表示値)

項目の移動は△▽キーで行いSET/REC/STOPキーで確定します。

登録商標について

- ・MicrosoftおよびWindowsは、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
- ・その他、記載している会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

ご使用に際してのご承諾事項：取扱説明書の「ご使用に際してのご承諾事項」をご覧ください。

オムロン株式会社 インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー

●製品に関するお問い合わせ先
お客様相談室

フリー
通話 **0120-919-066**

●FAXやWebページでもお問い合わせいただけます。
FAX 055-982-5051 / www.fa.omron.co.jp

●その他のお問い合わせ
納期・価格・サンプル・仕様書は貴社のお取引先、または貴社担当オムロン販売員にご相談ください。
オムロン制御機器販売店やオムロン販売拠点は、Webページでご案内しています。

携帯電話・PHS・IP電話などではご利用いただけませんので、下記の電話番号へおかけください。

電話 **055-982-5015** (通話料がかかります)

■営業時間：8:00～21:00 ■営業日：365日

オムロン制御機器の最新情報をご覧ください。

www.fa.omron.co.jp

緊急時のご購入にもご利用ください。

EQUO Series
Fine Differential Pressure Station
ZN-DPX21-S



Thank you for selecting OMRON product.
 This guide describes the quick procedures and operational method to start up this product.
 For further information, refer to the Instruction Sheet in the package and a user's manual.

Start-Up Guide

2155209-1F

Read PRECAUTIONS FOR SAFE USE and PRECAUTIONS FOR CORRECT USE described in the Instruction Sheet before using the product.

OMRON Corporation
 ©OMRON Corporation 2010 All Rights Reserved.

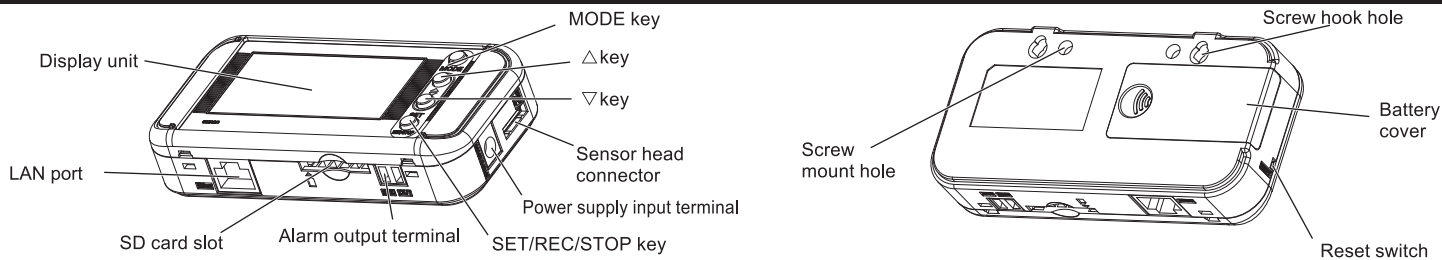
STEP 1 Checking the contents

- Main Unit 1
- AC adapter or DC cable(attached ferrite core) 1
- Alarm Output Connector 1
- Instruction Sheet 1
- Start-Up Guide (This document) 1

STEP 2 Preparing necessary items

- Differential Pressure Sensor Head ZN-DPS1□□-S (Sold separately)
- Two AAA batteries Alkaline batteries or rechargeable nickel hydrogen (Ni-MH) batteries.
 - Use two batteries of the same type.
 - When using network connections mode, use an AC adapter. Batteries can be used as backup in case of power failure.
- In the case of network connections**
 - LAN Cable, HUB for LAN Supporting 10BASE-T and 100BASE-TX
- When recording the measured data into the device**
 - SD memory card (SDHC compatible) Recommended SD card: HMC-SD292(2GB)/HMC-SD492(4GB)

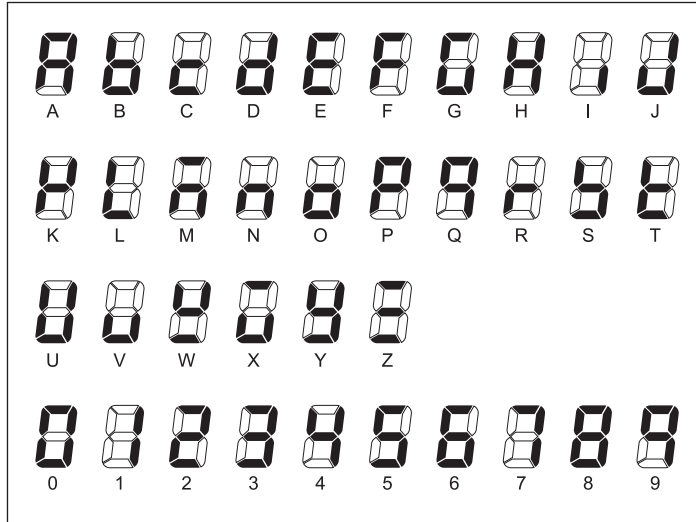
Description of each unit



Control unit

Name	Main functions
MODE key	Switch operating modes. Release an alarm or an error (press and hold). Cancel settings before fixing.
Item selection key Δ key	Move up the setting items. Change display screens. Change setting values (increasing).
Item selection key ∇ key	Move down the setting items. Change display screens. Change setting values (decreasing).
SET/REC/STOP key	Fix setting values etc. Start/stop record (press and hold). Send the recorded data into the SD card.

Character display list



Main messages displayed

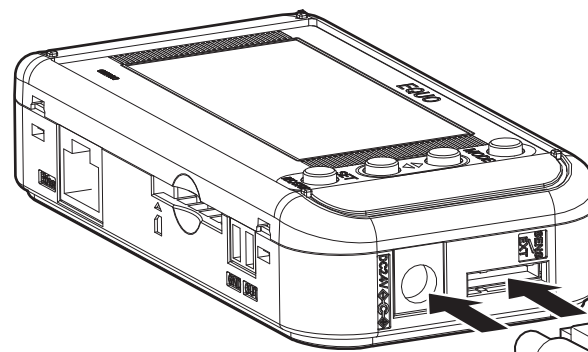
Display	Character strings	Display	Character strings	Display	Character strings
CYCLE	CYCLE	SDISP	SDISP	DP HI	DP HI
MEAS	MEAS	OFF	OFF	DP LO	DP LO
PD-S	PD-S	ON	ON	HOLD	HOLD
MODE	MODE	DISP	DISP	RESET	RESET
REC	REC	NORM	NORM	DONE	DONE
INIT	INIT	MAX	MAX	DATA	DATA
ETC	ETC	MIN	MIN	SEN	SEN
RESTR	RESTR	AVE	AVE	NO SD	NO SD
BCKUP	BCKUP	NET	NET	SDLCK	SDLCK
TIME	TIME	SLEEP	SLEEP	HARD	HARD
YEAR	YEAR	IP	IP		
MONTH	MONTH	SUB	SUB		
DAY	DAY	CONT	CONT		
CLOCK	CLOCK	RING	RING		

Display unit



Display	Meaning and operation when turned on
LAN	Communicating with the LAN cable.
REC	The LAN cable is connected. Ready for network communication.
SD	Recording data into the internal memory. SD card has been inserted. SD card is being accessed while light blinking.
ALM	The measured value exceeds the set threshold value.
Battery icon	AC adapter has been connected. The battery level is displayed in 4 levels. Replace batteries when it blinks.
Hi	Upper limit threshold
Lo	Lower limit threshold
MAX	The measurement is processed to extract Max. value.
MIN	The measurement is processed to extract Min. value.
AVE	The measurement is processed to extract Ave. value.
RUN	Current operating mode is set to RUN mode.
FUN	Current operating mode is set to FUN mode.
THR	Current operating mode is set to THR mode.
SCL	Adjusting the measured values when it is turned on with RUN on. Current operating mode is SCL when only SCL is turned on.

STEP 3 Connecting the sensor head and turning the power ON



2 Connect the plug of the AC adapter or DC cable into the power supply input terminal.

Note: Be sure to use the provided AC adapter or DC cable.

For 24 VDC input

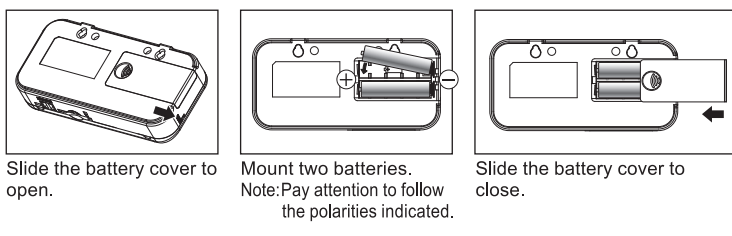
Connect the cable with a white line to the power supply (24 VDC±3%), and connect the cable with no line to 0 V.

For AC adapter input

Connect the AC plug to the outlet (100 to 240 VAC).

1 Connect the Sensor Head. Insert it until it clicks.

When operating the device with batteries



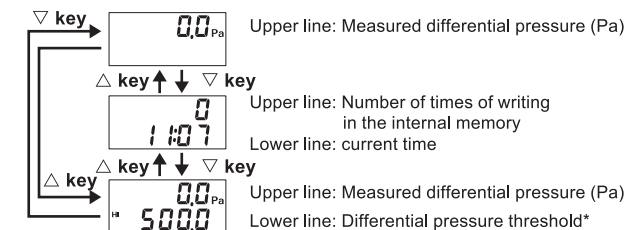
- When using NETWORK CONNECTIONS mode, use an AC adapter or DC cable.
- When you operate the device alone without a network connection, it is recommended that you adopt the SLEEP mode to conserve battery life.

- Connect the LAN cable after setting up the network connection.
- For connection and installation procedures of the alarm output cable, refer to the User's Manual.

3 Turn ON the power of the unit by connecting the AC adapter or DC cable.

4 When the power is turned ON, the product is set in the free-run status (data acquisition enabled) and displays temperature and humidity.

5 The display contents can be changed with the Δ and ∇ keys.



* The upper and lower threshold appear alternately.

STEP 4 Installing the software Multi Data Viewer Light

First, you need to install the software Multi Data Viewer Light to your computer. Multi Data Viewer Light comprises the following: summary/display tool, setting/logging tool and instant value display tool.

System Requirements

- OS: Windows 7 SP1/Windows 10
- *.NET Framework 3.5 SP1 or later is required.
- CPU: Intel(x86)-compatible processor, 1.5GHz or higher
- Memory: 2GB (32-bit OS)/3GB (64-bit OS), 3GB or higher recommended

- HDD: 1GB or more free disc space required
- Display: Resolution of 1024x768 or higher, 65536 colors (16-bit color) or more
- LAN port: 10BASE-T/100BASE-TX supported (for network connection)
- SD card reader/SD card slot: For loading data from the unit

Installation

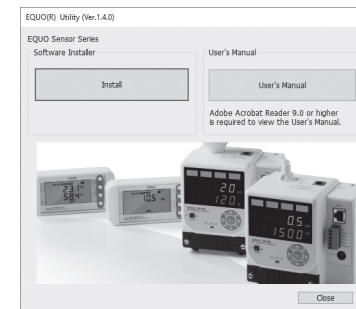
Visit the following link and download the installation file.



<http://www.fa.omron.co.jp/multi-d-v-e>

Extract the installation file to any folder, and run Setup.exe in the folder. The screen on the right appears. For installation, you must log in with Administrator permissions. .NET Framework 3.5 SP1 in your computer to install the software must be enabled.

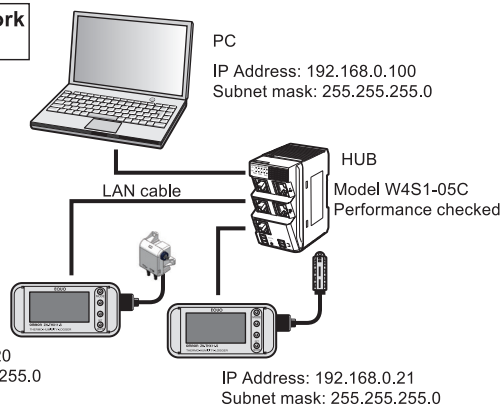
For how to install and use Multi Data Viewer Light, refer to Multi Data Viewer Light software manual in the installation file.



STEP 5 Network connections

When establishing network connections with the Air Thermo Station and a PC, it is necessary to make network settings. Connect the LAN cable after setting up the network connection for the Main Unit.

Image of network connection



Setup example

IP address of PC	192.168.0.100
IP address of the Fine Differential Pressure Station	(First device) 192.168.0.20 (Factory default) (Second device) 192.168.0.21 (Changed from the factory default)
Subnet mask	255.255.255.0 (Factory default)

Caution

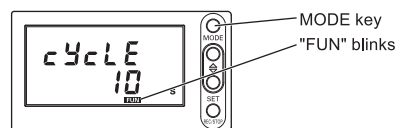
- In the case of network connections, use the LAN with a thorough understanding.
- When connecting to the Fine Different Pressure Station via LAN connection, establish dedicated LAN service.
- When connecting to the in-house or existing LAN, consult with the network administrator. Even in those cases, OMRON cannot ensure safe performance of the Fine Differential Pressure Station or the supplied software.
- Set different IP addresses for the PC and Fine Different Pressure Station to avoid duplication. Make sure to set a different 4th segment (IP4) of an IP address for every device even when operating with a subnet mask of something other than 255.255.255.0.
- Even when the IP address and subnet mask are used as the factory default, change the measurement operating mode from "MODE" to "NET."
- When connecting with Air Particle Sensor ZN-PDE£-S, see the User's Manual.

Setting up the device

Set up the device in FUN mode.

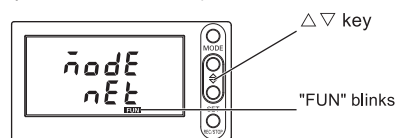
1 Press the MODE key to blink "FUN".

If FUN is already blinking, this operation is not necessary.

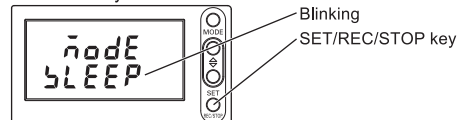


2 Display "MODE" in the upper line of the display and set the lower line to "NET."

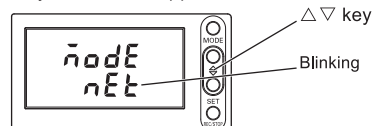
1 Press the Δ/∇ key until "MODE" appears in the upper line. If "NET" is displayed in the lower line, operations 2 - 4 are not necessary.



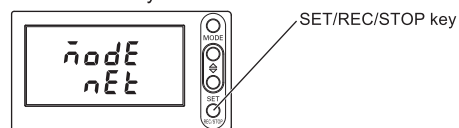
2 Press the SET/REC/STOP key to make "SLEEP" or "PD-S" in the lower line blinking.



3 Press the Δ/∇ key until "NET" appears in the lower line.



4 Press the SET/REC/STOP key to fix "NET".



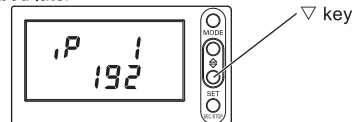
3 Same as the Step 2, display "ETC" in the upper line and set the lower line to "DISP".

4 Same as the Step 2, display "IP" in the upper line and set the lower line to "DISP".

5 Set up an IP address

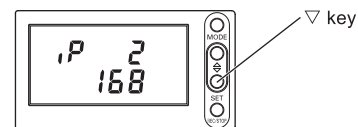
Factory default is "192.168.0.20". Here we change it to "192.168.0.21".

1 After fixing "IP" to "DISP," press the ∇ key to display "IP1". If 192 does not appear, change the figures using the example of changing IP4, which is described later.



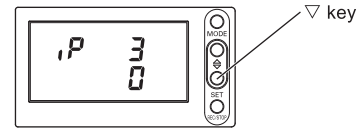
2 Press the ∇ key to display "IP2".

If 168 does not appear, change the figures using the example of changing IP4, which is described later.



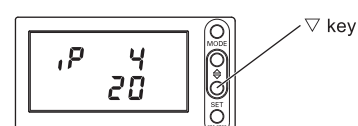
3 Press the ∇ key to display "IP3".

If 0 does not appear, change the figures using the example of changing IP4, which is described later.

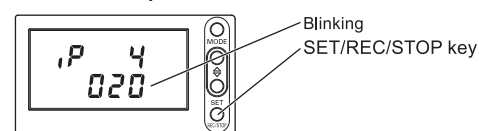


4 Press the ∇ key to display "IP4".

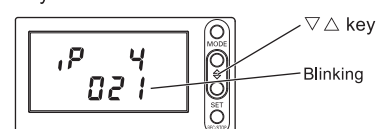
Change "20" to "21".



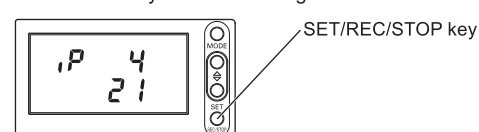
5 Press the SET/REC/STOP key to blink "20" in the lower line.



6 Press the ∇/Δ key to set the value to "21".



7 Press the SET/REC/STOP key to fix the setting.



6 Same as the Step 5, set SUB 1 - 4 (subnet masks).

Use the subnet mask with "255.255.255.0" (factory default). If you want to change it, contact the network administrator.

7 Press the MODE key to restart the device.

The device will operate with the new IP address after restarting.

List of the setting items

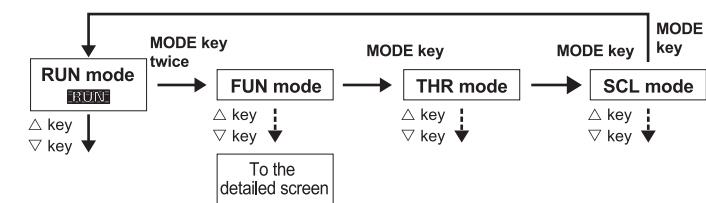
For details, refer to the User's Manual.

Operating Modes

The Fine Differential Pressure Station has 4 operating modes. Measurement and recording are carried out in RUN mode.

Mode	Name	Display	Description
RUN	Measurement execution mode	"RUN" turns ON	Performs measurement
FUN	Function setting mode	"FUN" blinks	Sets various parameters.
THR	Threshold setting mode	"THR" blinks	Sets conditions for alarm output.
SCL	Measurement value adjustment setting mode	"SCL" blinks	Configure settings for measurement value adjustment.

Change of operating modes is executed by the MODE key. Press the MODE key twice to change the mode from RUN to FUN. For other cases, press the MODE key once. Press the Δ key/ ∇ key to display the detailed screen. During recording into the device body, transition from RUN mode to other modes is disabled.

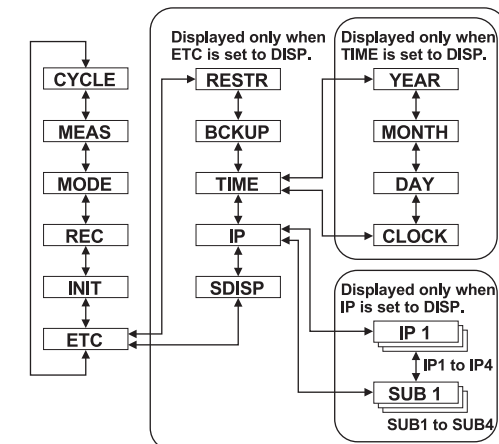


FUN mode

In FUN mode, settings for measurement and recording functions are configured.

Display items	Setting items	Contents	Factory default
CYCLE	Measured value update interval	Sets measurement value update interval. 1 s/2 s/5 s/10 s/20 s/30 s/1 m/2 m/5 m/10 m/20 m/30 m/1 h	10 s
MEAS	Processing Mode	Sets processing of the measured values. NORM/MAX/MIN/AVE	NORM
MODE	Measurement operating mode	Sets operation mode for measurement. NET/SLEEP/PD-S If the operating mode is changed with the MODE key after fixing the measured values, the device is reset and starts again.	NET
REC	Recording Mode	Sets operation for the case where the internal memory is used up.	CONT
INIT	Return to the factory default.	Press and hold the SET/REC/STOP key to start initializing. If the operating mode is changed with the MODE key after displaying DONE, the device is reset and starts again.	-
ETC (At DISP)	RESTR	Reading the setting data from the SD memory card	-
	BCKUP	Writing the setting data on the SD memory card	-
TIME (At DISP)	YEAR	Year	Sets the year.
	MONTH	Month	Sets the month.
	DAY	Day	Sets the day.
	CLOCK	Hour: Minute	Sets Hour and Minute.
IP (At DISP)	IP1-IP4	IP Address	0 to 255
	SUB1-SUB4	Subnet mask	0 to 255
SDISP	Sleep Display	Sets whether or not to display sleep mode. OFF/ON	OFF

Use the Δ key/ ∇ key to move among the setting items, and fix it with the SET/REC/STOP key.



If "ETC," "TIME," or "IP" is set to "DISP," it will return to "OFF" upon restart.

THR Mode

In THR mode, a threshold value for alarm output is set. When measurement is performed in the RUN mode, if a measured value exceeds the threshold value, "ALM" is turned ON and alarm output becomes ON condition.

Display items	Setting items	Contents	Factory default
DP HI	Upper limit of differential pressure threshold	If the measured temperature is higher than the setting value, "ALM" is turned on and alarm output becomes ON condition.	500Pa
DP LO	Lower limit of differential pressure threshold	If the measured temperature is higher than the setting value, "ALM" is turned on and alarm output becomes ON condition.	-500Pa
HOLD	Setting alarm hold	If alarm output becomes ON, the generated alarm is maintained after releasing the alarm condition. Press and hold the MODE key to release the maintained alarm.	OFF

Use the Δ key/ ∇ key to move among the items, and fix them with the SET/REC/STOP key.

SLC Mode

In SCL mode, adjustment for measurement value will be set. You can add/subtract a certain value from the measured value (offsetting).

Display items (Upper line/Lower line)	Setting items	Contents	Factory default
Differential pressure measured value	Differential pressure adjustment	Adjusts differential pressure. The upper line shows the value before adjustment and the lower line shows the value after adjustment.	Without adjustment (Displayed values in the upper line and the lower line is the same)

Use the Δ key/ ∇ key to move among the setting items, and use the SET/REC/STOP key to fix settings.

About the registered trademarks

- Microsoft and Windows are registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Other company names and product names described herein are registered trademarks or trademarks of each company.

Suitability for Use: Refer to Suitability for Use in the Instruction Sheet

OMRON Corporation Industrial Automation Company
Kyoto, JAPAN
Contact: www.ia.omron.com

Regional Headquarters
OMRON EUROPE B.V.
Wegalaan 67-69, 2132 JD Hoofddorp
The Netherlands
Tel: (31)2356-81-300/Fax: (31)2356-81-388

OMRON ASIA PACIFIC PTE. LTD.
No. 438A Alexandra Road # 05-05/08 (Lobby 2),
Alexandra Technopark,
Singapore 119967
Tel: (65) 6835-3011/Fax: (65) 6835-2711

OMRON ELECTRONICS LLC
2895 Greenspoint Parkway, Suite 200
Hoffman Estates, IL 60169 U.S.A.
Tel: (1) 847-843-7900/Fax: (1) 847-843-7787

OMRON (CHINA) CO., LTD.
Room 2211, Bank of China Tower,
200 Yin Cheng Zhong Road,
PuDong New Area, Shanghai, 200120, China
Tel: (86) 21-5037-2222/Fax: (86) 21-5037-2200

Authorized Distributor:

In the interest of product improvement, specifications are subject to change without notice.